


**海外感染症情報**

情報源：  
厚生労働省検疫所ホームページ  
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
南米	2017年02月13日	アメリカ大陸の黄熱の発生状況（更新3）
—	2017年02月13日	中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)の発生報告(更新2)
—	2017年02月06日	緊急事態の1年後も続くジカウイルス感染症の流行-PAHO ★

### ★【2017年02月06日更新 緊急事態の1年後も続くジカウイルス感染症の流行- PAHO】

2017年2月1日で、ジカウイルスに対して国際的な脅威に対する公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）が宣言されて1年となります。WHOからは事務局長 Margaret Chan 博士からコメントが発表されました（2月3日掲載）が、流行地であった汎米保健機構（PAHO）からもコメントが発表されています。

（中略）

汎米保健機構（PAHO）／WHOからの最新の情報によれば、2015年以降に、アメリカ大陸では48の国と地域で蚊の媒介によるジカウイルス感染症が確認されており、アメリカ大陸における5か国では性交渉による感染が報告されました。ブラジルからは半数以上の約200,000件の感染が確認されており、ジカウイルス感染症に関連して先天性症候群の新生児も2,618人確認されました。そのほとんどが、ブラジルからでした。

世界的に、ジカウイルスのリスク評価に変更はなく、ウイルスを媒介できる蚊が生息する地域は地理的に広がっています。「一部の国や一部の地域では、ジカウイルス感染症の患者に減少する傾向が報告されていますが、警戒体制を高く維持しておくことが必要です。」と、WHOからの最新のリスク評価で述べられています。

（中略）

ジカウイルスに対する治療法はありません。しかし、研究者らはワクチンの開発に取り組んでいます。ジカウイルスに関して既に1,500件以上の研究論文が掲載されており、このウイルスが母親にも胎児にも感染し、脳細胞を死滅させ、さまざまな先天異常を引き起こすことが確認されています。研究者からは、脳の異常、神経管の欠損、眼の異常、聴力の障害、感覚過敏、発作、摂食障害など幅広い範囲で影響のあることが報告され続けており、「先天性ジカウイルス症候群」と呼ばれています。

現在、WHOの緊急委員会により、ジカウイルスに対して流行への緊急対応期間が終了したという宣言が行われたことに続いて、専門家はジカウイルスを長期にわたる公衆衛生上の課題と考えています。取り組みが進むにつれて、検出方法、予防対策、医療支援および生活支援を向上させるなどの長期的な取り組みが行われています。研究は、感染の発生した国での（流行への）備えと対策を強化することにも重点を置いています。

出典

PAHO/WHO. Media Centre. 1 February 2017

The Zika Virus outbreak continues one year after the global emergency

[http://www.paho.org/hq/index.php?option=com\\_content&view=article&id=12944%3Azika-virus-outbreak-continues-one-year-after-global-emergency&Itemid=1926&lang=en](http://www.paho.org/hq/index.php?option=com_content&view=article&id=12944%3Azika-virus-outbreak-continues-one-year-after-global-emergency&Itemid=1926&lang=en)

\*次号からは新たに、当検査センターにおける「細菌検査統計情報(仮称)」をお届けいたします。